帯広商店街かわら版
いらっしゃい

無料
FREE
第１６号
帯広市西2南9
坂本ビル5階
帯広市商店街
振興組合連合会内

帯広商店街かわら版
いらっしゃい編集局
TEL23-6546

中心部商店街空店舗対策

チャレンジショップ とは？

元気があり、商売に意欲のある人にチャンスを！

……帯広商工会議所TMO

チャレンジショップ」という言葉をご存知でしょうか。

チャレンジショップとは、一般的にはまとまった面積のある空店舗を借上げて、そこを二、三坪の小さなスペースに分けて、一、二万円の安い家賃で商売をしてみたいという意欲はあるが本格的に開業するまでには至らない人達に提供し、1年程度の期間限定で実際に商売をしながらノウハウを学んでもらい、その後そこを出て商店街の空店舗等で本格的に開業してもらう事業です。

富山市の中央通商店街が、平成9年に**フリークポケット**」というチャレンジショップを始めて、これまで30人が卒業して本格開業し、商店街の空店舗率が大きく減少するという効果を上げています。それをまねて現在は全国で40カ所以上の都市でチャレンジショップ事業が行われています。

しかし、全国の例を見ると、フリークポケット以外成功したという例はあまりないと言われています。その原因は行政や会議所が主導で表面的な仕組みだけをまねし、この事業を何としても成功させたいという熱意のある人がいない中で事業を立ち上げてしまい、結局は単なる不動産賃貸事業になってしまっているからです。

事業を成功させるには、まずこの事業の必要性を認識し、何としても成功させたいという意欲を持つ人が集まり、コンセプトをはっきりさせ、それにそった場所を選定し、事業意欲を持つ人を集め、チャレンジショップを卒業して本格開業するまで、経営ノウハウや各種情報の提供、人的ネットワークの構築等ができるシステムを作り上げなければなりません。

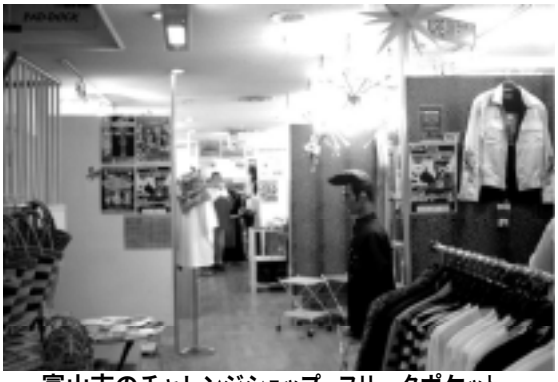
帯広商工会議所TMOでは、帯広市でもこのチャレンジショップ事業を展開できないか現在検討部会を設置して協議を進めています。これまで十数度の会合を重ねていますが、まだきちっとしたコンセプトが固まっていない段階です。しかし、いろいろな方に参加いただき論議している中で、共通認識が形成されつつあります。

先日は、富山市のフリークポケットの生みの親である**竹嶋身和子氏を招いての懇談**も行い、示唆に富んだ貴重な意見を聞くことができました。あわせて、中心部で想定される場所を実際に調べに行くことによって、新たなアイデアも生まれてくるのではないかということで、中心部の場所探しを行いました。

このように人的なネットワークを作りながら、コンセプトを初め運営システムやチャレンジャーに対する支援の仕組み等を作り上げ、広くPRしながら事業化していけば、必ずや成功させることができると確信しています。

今後も、多くの方の意見を聞きながら帯広にふさわしいチャレンジショップ事業を組み立てていきたいと思っていますので、興味をお持ちの方は是非ご参加ください。

●連絡先
帯広商工会議所
担当　鈴木
電話　(25)7121



富山市のチャレンジショップ、フリークポケット

街角スナップ

朝8時、スーツ姿の男性がゴミ袋を片手に西2条通りを歩いていきます。北見信金帯広支店の職員の皆様です。毎朝、始業前15分程度の時間、歩道に落ちているタバコの吸殻、空き缶などを拾っています。今年の夏には、休業日の土曜日に職員総出で西2条1丁目から11丁目までの清掃もしたということです。

支店長の中西さんは、「昨年、創業70周年の記念事業―一店舗一貢献運動として献血と中央公園の清掃を実施しました。今年は職員が自発的に何かをしたいということから、こうして通りの清掃に取り組んでいます」と語ってくださいました。

サポーターズクラブ通信

サポーターズクラブは、商店街を応援するボランティアグループです。

Vol.１５

２００１年が終りに近づこうとしています。21世紀スタートの年に多くの人は大きな変化を求めたことでしょう。

世紀の変わり目という一大イベントに便乗し、自らも変われると相変わらず他人任せの団体がいかに多かったことか・・・。かく言う、我々サポーターズクラブも例外では無かったような気がしています。今年度の目標は『楽しいマチが欲しい!!』。言うのは簡単ですが想像するのも困難なテーマでした。『何が楽しい?』『どうすればいい?』幾度も進んでは戻っての議論が続いています。そもそも、なぜ楽しいマチをつくらなければならないのでしょう。学生時代を思い出させるような・・・歩きたくなるような・・・本当にそんなことを望んでいるのでしょうか。答えは簡単!!それは日本のほとんどの都市に課せられたテーマだからです。

『中心部活性化』、どれだけこの言葉を聞いたでしょう。我々サポーターズクラブは、中心部活性化、主に商店街の応援団的要素を多く含み誕生しました。中心部活性化は商店街、もしくは商店主だという錯覚を起させたのはこの頃でしょうか。本当に中心部活性化は商店街のためにやるのでしょうか。頑張っている商店主のためにやるのでしょうか。答えはNO!だと我々は感じます。

この問題はそこに生活する全ての住民、市民の問題です。想像してみて下さい。もっと寂しくなる中心街を、魅力の無い駅前を、顔の無くなる都市を・・・。過去に多くの会議で将来の華やかな帯広を想像させられました。ここで反対の帯広を想像してみましょう・・・。例外ではなくここ帯広も『危機』なのです。この危機を乗り切るために市民が手を取り合い、考えなければなりません。

その輪の中心に我々サポータズクラブがいることを期待していただきたい。

本年も大変お世話になりました。良い年を迎えられることをご祈念します。

現在の大正町の町並み

歴史が語る商店街……大正商工同友会（シリーズ⑬）

昭和15年、高島益義が初代会長として大正村商業組合を設立したのが始まりです。

昭和26年には、前組合を解散し、大正商工会として創立され、初代会長に中村勝治氏が、また昭和35年には大正経済同友会が創立され、中村一郎氏が会長に就任。昭和40年に現在の大正商工同友会になりました。

初代会長には中村一郎氏が選任され、会員相互の親睦と地域の繁栄を目的に設立されました。昭和44年に、商工青年部、小売部会、サービス部会、工業部会の4部会を置き、大正秋祭りに青年部初の事業として「闘犬大会」「仮装盆踊り大会」を開催し、好評を得ました。また、大正町の国道236号の道路脇に、交通安全を願って青年部を中心に会員が一致協力して、古タイヤを土台にしたロボットを制作しました。帯広商工会議所は、帯広市商店街再開発推進委員会を発足させ、本会からは中村一郎氏、四十坊敏己氏、福島運二氏、富士田菊男氏が参加し、商店街の近代化推進計画に取り組みました。

昭和55年、国島会長の時に大正商工同友会40周年記念式典が行われました。

昭和32年、帯広市との合併を境に、村役場、登記所、定時制高校、開発局治水課、病院などがなくなり、大正本町市街の流れが、過疎化へと変わっていったように思います。平成元年に辻米蔵会長が6代目会長に就任、3期6年に渡り本会の舵取りをしていただきました。その間、平成3年大正地区ノーマライゼーションの会長に就任され、旧大正駅周辺の大正ふれあい広場の整備に力を注ぎ、大正活性化委員会と協力して帯広市の公園整備事業に組み入れることが出来ました。その後、7代目阿部丞雄会長が前会長の事業を継続して引き継ぎ、平成8年着工、平成13年11月完成しました。

大正商工同友会の会員も一時退会された方もおりましたが、今年になって再入会され、徐々に会員も増えてきており、この厳しい経済を乗り越えられるようにみんなで力を合わせて努力し、昔の元気ある街に戻れるよう知恵を出し合い頑張っています。

今年は立派な『カニの家ログハウス』がオープンし、1350人のライダーに利用して頂き、たくさんのライダーの方と心を通わせることが出来ました。

近年は帯広市近郊に大手スーパーが進出し、買い物客の流れが変わってきていますが、一つ一つ出来るところから地道に対策を考え実施していきたいと思っています。

前会長辻さんは6月に亡くなられましたが、先人の苦労に心から敬意を表し、大正商工同友会の発展と街の活性化に今後とも努力していきたいと思っております。（伊藤）

…リレーインタビュー…

№13　太田　隆博
△アットホームおおたv

帯広市大通南7丁目17・電話（22）5511

▼基本データー
▽**生年月日**＝昭和39年6月30日▽**血液型**＝A型▽**出身地**＝帯広市▽**商い歴**＝太田寝装に入社してから8年▽**趣味**＝読書、ゴルフ

▼どんな仕事ですか？
寝具、寝装品の販売や贈答品の販売、カーテン工事など住まいに関することは何でも。また、病院やホテルなどの業務用寝具のリースやそれに付帯するサービスの提供が主な仕事です。

▼商売の基本やモットーは？
近江商人の「売り手良し、買い手良し、世間良し」の三方良しの精神と、「お客様に嘘を言わない」の二つを基本にしています。「ふとん」というのは、中身が大切ですが、中が見えません。それだけに店とお客様の信頼関係がなくては、布団を買って頂いたり、打ち直しなどの加工をすることが出来ません。お客様に安心していただけるよう、商品やサービスの説明をさせていただいております。

▼青年会活動や中心部活性化については？
大通商店街は大通7丁目から10丁目までの4街区で構成されています。見てのとおり商店よりも金融機関、保険会社などが多く目立ちます。そのため、一般的な商店街の賑やかさはなく、それを求めるのは難しいかもしれません。中心商店街の地盤沈下は、ここ帯広市だけではなく、日本全国どの街においても言えることです。しかし、商店街の結束や他の商店街との横の繋がりを大切にし、街に集まる人々のために汗と知恵を絞ることにより、そんな時代の流れに逆らうパワーが生み出されると思います。個々のお店がそれぞれの個性を出し、持ち味を前面に打ち出した「超商店（スーパー）」になることです。そんな「超商店」を目指して努力していかなければならないと思います。

★☆街で見かけた新しいお店　どうぞよろしく☆★

hammock（ハンモック）

西2南7・電話26-6668　店長　平　勇人さん

今年6月末にオープンしたカジュアルウェアのお店です。主力に扱っているのはSTAPLE（ステープル）というニューヨークのブランドです。トレーナーやジャケットがびっしり並びます。

店内にはかわいらしいフィギュア（お人形）も！知る人ぞ知る、キューブリックです。大人気のベアブリック（３８０円～）は入荷してすぐに完売してしまうそう。今月中には入荷予定なので、要チェック。

この冬お薦めはカラフルなマフラー（１９００円～）。彼へのクリスマスプレゼントは「ｈａｍｍｃｋ」で決まり！

かわいい小物もいっぱい!!

☺ 今月の笑顔 ☺

石田　理美さん

昭和55年5月12日生　21歳

きくや

西１南９（東銀座通り）TEL20-2010
営業時間　17:00～23:00（日曜定休日）

11月で、オープン以来、2年になりました。

当店では焼き鳥30種類、おでん20数種類、十勝郷土の田舎料理とバラエティーに富んだメニューを、より安い価格で提供しています。

お店のモットーは、①お客様にはいつも笑顔で応対、②店内はいつも清潔に、③スタッフのコミュニケーションを大切に･･･です。小さな店ですが、店長を筆頭にスタッフ全員、一生懸命に頑張っています。

私も、入店して1年が経ち、お客様の顔が少し見えるようになりました。

お店の皆さんに支えられながら、これからも頑張っていこうと思います。

年末、年始の会合など、皆様のお越しをお待ちしています。ぜひ、「きくや」へいらっしゃい。

商店街辛口コーナー

最近の街の店の入り口が狭くなって入りづらい。人通りが少なくなって無用心だからか？ガラス越しに中をのぞいても人の居る気配も感じられない。勇気を出して中に入り、品物を手にとって、素材は何か、洗濯は？を確かめたくても、あまりにもきちんと積まれて陳列されていてそれもかなわない。それでも、物色していると、ようやく店員さんが現れて、買うの？　買わないの？」と言う顔で応対する。最近は消費者の方が品物に対する情報や、知識は多く持っている、でも専門店の話を聞き納得して買いたいと思う。

やはり人と人とのコミュニケーションを求めているのですが、買わないのなら、早く立ち去って」と言う態度が多い。私は年に何度か行われる「セトモノ市」が大好きです。テント張りの中の粗末な店先に窯元より何百万もする品が無造作に並べられ、間近で見られたり、触れることも出来、店員さんとの会話も楽しめ、必要としないものでも、気にいった品物があれば二、三点は買ってしまう。やはり人と人との会話が楽しいから、どんな安物を買っても大きな声で「ありがとうございます。また来年も来てね」と送ってくれる。

どうも、この辺が帯広の商店街には足りないように思われる。

貴方だけに こっそり 教えます

パチンコおもしろ学

(攻略法･初伝十五の巻)

釘師　クマ･みつお

(15号からの続き)

当然入場者の数字も興味の有るところ。慣れているようなおばあさんに聞くと土曜、日曜はほとんど埋まるよだって。驚いたね。帯広のパチンコファンが多い東の方でも3店舗合わせても1,300人くらい。土地柄が雪の多い閉ざされた地方とはいえ驚いた。

そのお店を出てまた驚いた。駐車場の向こうの道路を挟んで1,500台設置しているお店があった。2店舗で3,500台の設置台数。帯広でいうと7店舗が集まったようなもの。そちらも土曜、日曜にはほとんど埋まってるとタクシーの運転手さん。

帯広にも800台規模のお店ができているけど、我が業界とはいえ良くやるなと思う。お客様にとっては選択肢が広がることはいいと思う。

大きいことだけが良いとは思っていない拙者は、小粒でもピリリと薬味の効いたお店の運営に全力を尽くして行こうと改めて考えている今日この頃なのだ。

クイズで当てましょう！　№12

【問題】

来年１月に、帯広市で冬季国体が開催されます。その名称は何でしょう？

１．おびひろ清流国体
２．道東ひろびろ国体
３．とかち青空国体

正解者の中から抽選で2名の方に、NCおびひろ商品券1000円分をプレゼントいたします。当選者は次号で発表いたします。

◆応募方法◆　＜締切：1月8日必着＞

クイズの解答、住所･氏名･年齢･電話番号を記入の上、下記まで葉書またはFAXでお願いします。

〒080-0012 帯広市西2条南9丁目坂本ビル5F
市振連内 いらっしゃい編集局　FAX:23－6560

先月の問題、正解は1（紫･オレンジ･緑）。当選者は吉田　秀樹さん、佐藤　俊代さんのお二人でした。

年末全市連合大売り出し 12月15日から始まる

毎年恒例の年末全市連合大売り出しが12月15日から始まります。

今年の注目は、帯広商工会議所創立80周年を記念した大盤振る舞い、なんと十勝管内の温泉ホテル11館からお好きなホテルを選ぶことができる 温泉ペアご招待」が408組816名様に。

そのほかにも千円札のつかみどりが68本、市内の参加飲食店約60店で使える2000円分の『お食事券』が1360本など、魅力的な賞品がいっぱい。

お買い上げ5000円でワンチャンス。

中心商店街でも、藤丸を始めとしたすてきなお店がいっぱい参加しています。

詳しくは、案内チラシをご覧下さい。

十勝の温泉にペアでご招待！

千円札のつかみ取り